

備前市施策評価シート

【平成31年度作成】

施策名 (小項目)	公民館・図書館機能の充実	決算書 P184	(款)10 教育費 (項)6 社会教育費 (目)2 公民館費,3 図書館費
コード	02-02-07	作成者	社会教育課長 竹林 幸作 (tel 64-1134)

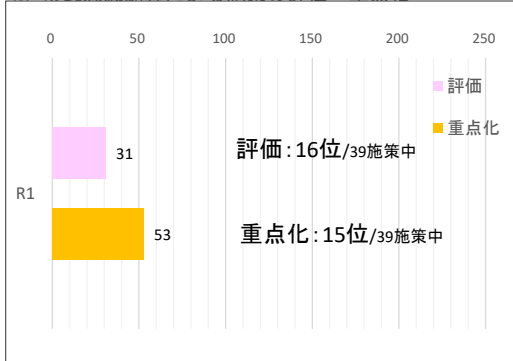
この施策のアピールポイント
 公民館、図書館では、生涯学習の拠点として、気軽に来館いただける環境づくりを行っていきます。公民館では、市民の生きがいや自己実現を促進するための事業を展開するとともに、図書館では生涯を通じて読書に親しむことのできる環境の整備を行ってまいります。

この施策の平成30年度の施政方針
 公民館・図書館機能の充実につきましては、市民にとって最も身近な社会教育施設の1つである図書館の整備に向け準備を進めてまいります。また、幼児から高齢者まで、幅広い年齢層に利用していただけるような企画、蔵書の収集に取り組んでまいります。

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想(大項目)	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画(中項目)	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	公民館、図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習の拠点です。公民館では市民に情報交換の場として気軽に利用していただき、図書館では豊富な知識や多様な情報を市民に提供する社会教育施設として、利用の場を提供します。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	公民館・図書館は、地域活動・生涯学習の拠点です。最も身近な生涯学習施設である公民館では、文化イベントや各種講座の開催等さまざまな事業を行っていますが、趣味趣向の多様化による参加者の減少や固定化、事業のマンネリ化などの課題があります。地域の学習拠点として、すべての市民の生きがいや自己実現を促進する公民館事業を展開していく必要があります。図書館は、知識の拠点施設として生涯を通じて読書に親しむことのできる環境の整備が必要です。また、多様化する市民のニーズに対応していきけるよう、幅広い資料の収集とともに、施設・設備の充実が求められています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 公民館における学習機会の拡大・充実 公民館事業における若年層との交流促進 地区公民館への支援 図書館書籍の充実 本に親しむ活動の推進 図書館機能の整備・充実 	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



評価結果の分析
 生涯学習の拠点として多くの市民が利用する公民館での文化イベントや各種講座の開催、図書館での蔵書充実や本に親しむことのできる子ども向け催しの開催などが評価されていると考えている。

重点化要望の分析
 地域の特色を生かしながら、いろいろな世代を対象とした公民館活動の充実を図ったり、図書館の相互利用などにより利用しやすい図書館を目指しているものの、重点化要望も全世代を通じて依然高いものと思われる。

⑥ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H28	H29	H30			R2	R4
成果指標 公民館の利用者数	目標	人	100,000	77,500	80,000	3館の利用者数の合計。備前市民センター、日生市民会館、吉永地域公民館の利用者を含む。	R2	85,000
	実績	人	75,889	80,651	79,611		R4	90,000
	達成率	%	75.9	104.1	99.5			
	ベンチマーク							
参考指標① 図書館の利用者数	目標	人	30,000	23,000	24,000	3館(本館・分館)の利用者数の合計	R2	26,000
	実績	人	20,475	20,163	21,430		R4	28,000
	達成率	%	68.3	87.7	89.3			
	ベンチマーク							
参考指標② 1人当たりの貸出数	目標	冊	3.5	2.7	2.8	市民1人当たりの図書貸出冊数(貸出冊数/人口)	R2	3.0
	実績	冊	2.5	2.3	2.8		R4	3.2
	達成率	%	71.4	85.2	100.0			
	ベンチマーク							
参考指標③ 公民館講座募集定員の充足率	目標	%	85.0	80.0	80.0	(応募者数/定員)	R2	80.0
	実績	%	78.9	68.5	74.9		R4	90.0
	達成率	%	92.8	85.6	93.6			
	ベンチマーク							

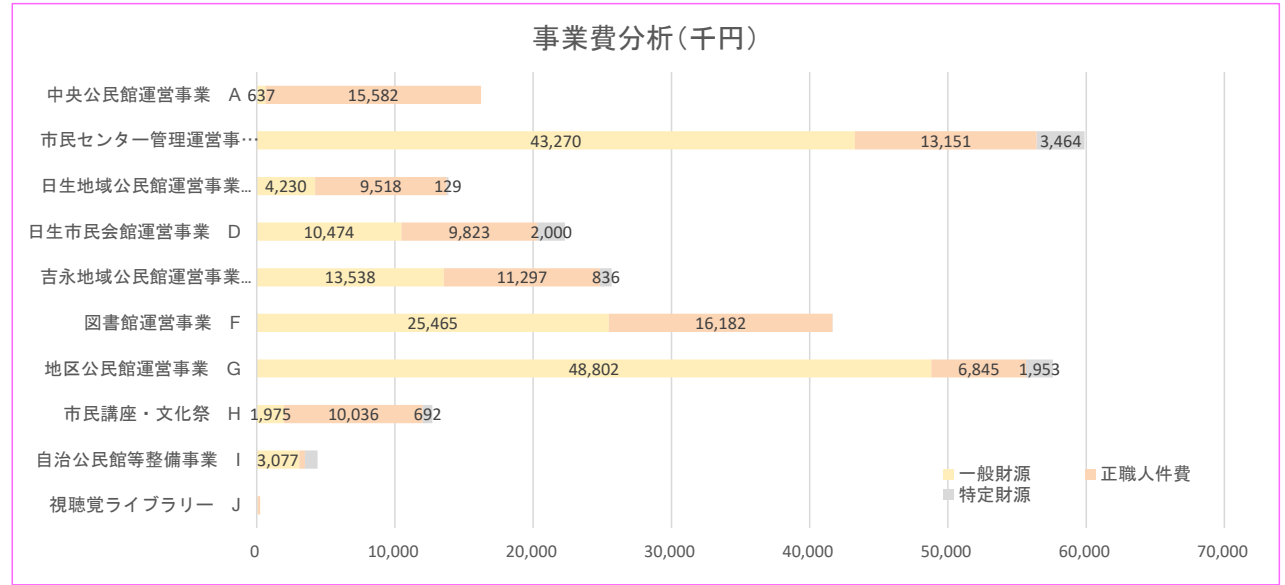
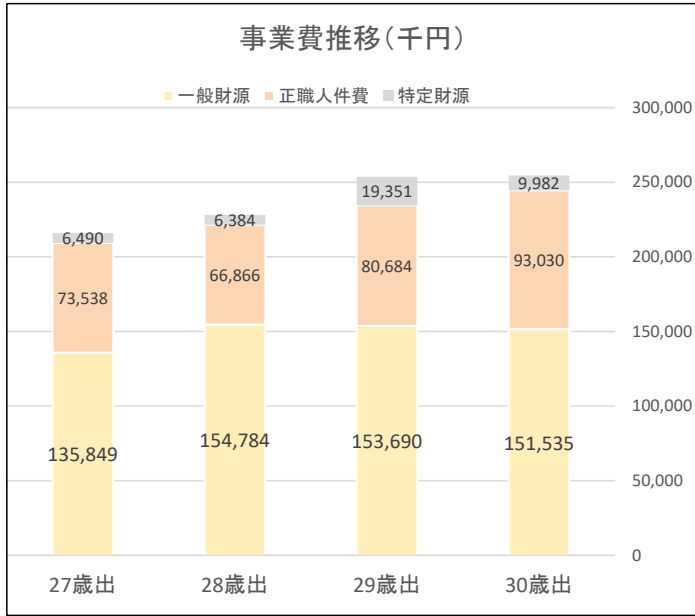
⑦ 目標達成に必要な新規事業(施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	学校図書館運営事業	児童期から本を選ぶ機会を設け、読書習慣を身に付けさせることができる。
子育て支援課	次世代育成支援対策事業	幼少期から本を選ぶ機会を設け、読書習慣を身に付けさせることができる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	5	公民館や図書館にご来館いただき、各々の課題解決や情報提供に役立てていただくお手伝いをするためには、たくさんの方にご利用いただくという指標が、今の段階では最も妥当だと考えています。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	貸館業務だけに対応している傾向が強くなっている公民館の現場を、社会教育の推進を念頭にした多様な講座を企画したり、市の各施策と連携した取組をもっと増やしていく必要があります。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	生涯学習社会の理念を社会教育によっていかに実現するかという根本に立ち返って、地域の特性を生かしたり、理解を深めようとする事業や講座等を企画できるかどうかにかかっています。利用率の向上に向けて施設の魅力アップが必要となります。	
進行年度(H31年度)の取組内容 (課題解決状況)	各公民館が中心となって、さまざまな世代の方が参加できる各種講座の実施に取組みます。図書館の整備については、新図書館整備基本構想策定委員会により図書館整備基本構想から取り組んでいきます。そうした中で広く市民ニーズを把握するためアンケート調査を実施します。		
翌年度(R2年度)の取組目標	地域の学習拠点として市民の生きがいや自己実現を促進する公民館事業の展開を目指していきます。子供から大人まで図書館を利用し、事業に参加できるよう魅力ある図書館づくりに取り組んでまいります。また、圏域連携による図書館相互利用を推進していきます。		
二次評価者コメント	公民館については、市民福祉の向上につながるような事業の展開を進めていきたい。図書館機能の整備・充実については市民の意見を取り入れながら、着実に取り組んでいきたい。		基本施策への貢献度
役職 氏名	教育部長 田原 義大	4 やや高い	

07 公民館・図書館機能の充実【社会教育課】



事業費 2.5 億円
 特定財源 0.1 億円

